

秋田県北部テクノプラザ「燃えるボトムアップによる現場改善の実践法」研修

講師：青山学院大学 教授 松本 俊之 氏

【概要と目的】

市場のグローバル化とコスト削減を目的とした工場の海外移転や工程の委託化によって、日本国内の製造企業のものづくり力は弱体化しており、以前ほど改善で活気ある現場をあまり見かけない気がします。今こそ、I E*を主体とする改善力によってものづくり力を強化した理想的な改善現場の実現が望まれています。

理想的な改善現場では、人はムリ・ムラ・ムダなく動いており、生き活きと作業して改善を楽しんでいます。また、ものはスムーズに滞留なく動かされており、それが美しい流れになっています。さらに、設備は対象に合わせた必要最小限のメカニズムで変化および価値を加えており、そこに感動的な創意工夫がみられます。そして、これらが常に変化し続けています。

これを実現するためには、燃えるボトムアップによる現場改善の実践が必要です。それには、問題の所有者であり、直接価値を生んでいる現場の方々が、現場の問題を発見して、動作・もの・設備・情報の視点から改善案を考えて実行するための改善マインドが必要です。そして、これらの改善マネジメントを実践するための基本的考え方の理解が必要です。

本研修では、改善マネジメント編として、改善を楽しむためのキーワードや改善をマネジメントするための考え方を多くの事例に基づいて解説します。また、改善手法編として、I Eの基本的な考え方と仕事の分析・改善に関して、実例や演習を用いて分かりやすく解説します。

* I E（インダストリアル・エンジニアリング）は経営工学、とくにものづくりでの改善の中核です。

I Eとは、人を含むシステムの仕事の生産性を向上させる改善活動および問題解決活動のことであり、人が改善力を身に着けて育つことです。

【内 容】

1 日目：改善マネジメント編

①「改善のすすめ」

現場の方々に気づきを与えるための改善のキーワード

②「改善マネジメントと改善マインド」

改善マインドを醸造するためのマネジメント方法

③「I E問題解決」

問題の発見方法と解決方法の基本的考え方

2 日目：改善手法編

④「I Eの歴史/工程分析」

I Eの歴史/作業者の動きに注目した分析手法

⑤「マンマシン分析」

作業者と設備の関連に注目した分析手法

⑥「ものこと分析」

対象の変化に注目した分析手法

⑦「在庫ゲーム」

在庫管理とものと情報の流れを理解するためのゲーム

「流動数分析」